

歯周病



歯周病とは？



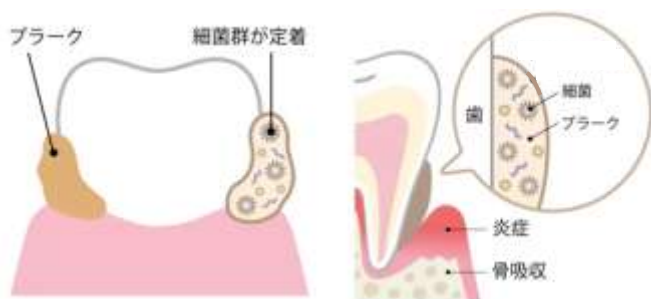
歯周病とは、歯を支える周りの組織に起こる病気です。

歯の周りには、歯を支える色々な組織（歯肉、歯槽骨など）があります。

歯周病は、これらの組織に細菌が感染し、炎症と破壊が進行する病気です。

進行すると歯肉が下がってきたり、膿がでたり、歯がグラグラしてきたり、最後には歯が抜け落ちます。

歯周病の原因



歯周病は、プラーク（歯垢）が溜まることから始まります。

プラークは、誰の口の中にもある細菌と食べ物由来の栄養成分によってできます。

プラークには、1mgあたり約500種、1～10億個以上の細菌が存在し、身体はプラークとの間で戦い（免疫応答）を繰り返しています。細菌が死滅してきて、死骸に唾液成分の無機質が沈着して石灰化したものが歯石になります。歯石は、汚れをさらに貯留させてしまいます。

歯周病を予防し、進行を防ぐには、プラークや歯石を溜めないことが大切です。

歯周病の兆候

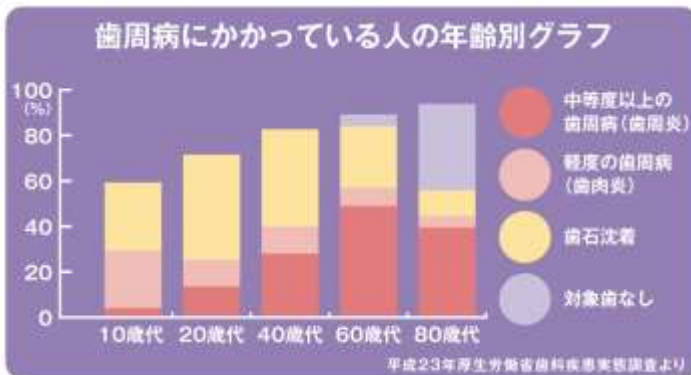


- 朝起きたときに、口の中が粘ついたり妙な味がする。
- 歯みがきのときに歯ぐきから出血する。
- 硬いものが噛みにくい。
- 鏡で見ると、前よりも歯が長くなったように感じる。
- 歯と歯の間によく食べ物がはさまる。
- 口臭があり、親しい人から口が臭いと言われたことがある。
- 歯肉が赤く腫れたり痛むことがあり、押すと血や膿が出る。
- 歯ぐきがむず痒く、歯がグラグラする。

上記のような症状があれば、歯周病の可能性あります。
歯科医療機関で検査を受けることをお勧めします。



ほとんどの成人が、罹患しています



歯肉炎は、歯肉に炎症を引き起こした状態です。それに加えて、歯を支える骨（歯槽骨）が溶けてグラグラになった状態（歯周炎）と合わせて、歯周病といいます。

程度の差はあれ、ほとんどの成人が歯周病にかかっていると言っても過言ではありません。

鹿児島県においても、

- ・高校一年生の時点で約26%が何らかの歯周病に罹患¹⁾し、
- ・50歳代、60歳代、70歳代の半数以上が、中等度以上の歯周炎に罹患しています。

1) 令和4年度 鹿児島県歯科口腔保健推進協議会 資料



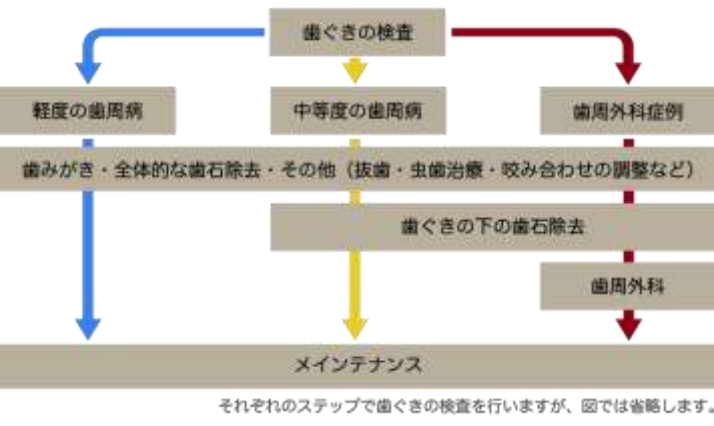
歯周病予防は検査から



歯周病は、とくに初期の段階では自覚症状がほとんど出ません。

歯科医療機関での検査を受けないと、正確な診断ができません。

歯周病治療について



症状やお口の環境によって、治療の流れや期間が異なります。また、いくら歯周病治療を受けても、普段の歯みがきでプラークの取り逃がしが続けば、歯ぐきの状態が保てません。

治療が終わったあとも定期的にメンテナンスを受けることが重要です。

脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび脳卒中・心臓病等相談支援窓口では脳卒中や心臓病についてのお悩みの相談に乗っています。お気軽にお越しいただくか、メール、電話などでお問い合わせいただけましたら幸いです。

e-mail: sc-shien@kufm.kagoshima-u.ac.jp 電話番号：099-275-6895